

学校法人つくし学園の保護者の皆様へ

研究結果のご報告

—保護者の地域との結びつきと幼児の体重との関連—

神戸大学大学院保健学研究科 荻洋仁, 小川真人, 中村大介, 井澤和夫
学校法人つくし学園 中村光彦

今年の2月に実施したアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。皆様のご協力により、新たな発見をすることが出来ました。

簡単にではありますが、この度の研究の結果をご報告いたします。

今回私たちは、保護者の方々の地域との結びつきとお子様(3~6歳)の体重の関連性について調査をいたしました。その結果、以下のことが分かりました。

- ◆ 地域との結びつきが強い保護者様のお子様は、適正な体重（健康的と言われている体重）である確率が高いこと（模式図1）
- ◆ 様々な要因(保護者やお子様の年齢など)を考慮してもなお、保護者様の地域との結びつきが、お子様の体重に強い影響を与えていること



このような発見は、今回皆様にご協力いただいた研究が世界で初めての報告となります。

幼少期に肥満であることは、大人になった時に生活習慣病になりやすいなど、様々な健康状態に影響を与えることが知られています。そのため、「幼少期からの長い目で見た予防」が大切であり、その改善策の一つとして、保護者様の地域との結びつきを強めることも重要だと考えております。

今回は、他にもお子様の睡眠や虫歯、保護者様の体重や睡眠などについても調査しております。これらの全国平均や国が定める基準値と皆様の数値との比較を行い、動画にまとめたものを以下のURL、あるいはQRコードからご視聴いただけます。

お子様の睡眠、虫歯、朝食、テレビ視聴時間について知りたい方にオススメです！

URL: <https://www.youtube.com/watch?v=nys6yvRC9Xg>

何かご質問やご意見がある場合は、荻まで(ogihiroto6062@gmail.com)ご連絡ください。この度はご協力ありがとうございました。

